



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

事務所 中延 2-11-7 TEL3783-8833 このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。
区議団控え室（品川区役所内） TEL5742-6818

昨年11月議会で鈴木が取り上げました

ファミリータイプ付置、管理の強化など



4月から品川区がワンルームマンションを規制

品川区のワンルーム
申請件数の経過

	棟数	戸数
1997年度	8	251
1998年度	12	525
1999年度	10	420
2000年度	21	739
2001年度	15	662
2002年度	33	1351
2003年度	28	1324
2004年度	25	1312
2005年度	39	1727
2006年度	38	1610

ワンルームの建設戸数：
品川区は23区で1位

品川区は、ワンルームマンションに対して、ファミリータイプの付置義務や管理の強化など要綱の改正を行い、4月から施行します。私・鈴木は昨年11月議会で取り上げ、規制を求めました。区は、今回の改正は第1弾で今後も見直していくとしています。

水準の優れたものが建設されること、ワンルームの建設が抑制されるものと説明しています。

改正の内容は：
ファミリータイプ・高齢者向け住宅の付置、**管理人の駐在など**

① 40㎡以上のファミリータイプの確保の義務付け

・ 住戸数が15～19戸は1戸以上

・ 20～29戸は2戸以上

・ 30戸以上は計算式で求めた住戸数以上の確保（例：第一種低層地域

で50戸では9戸をファミリーに）。

② 管理人室を設置し、管理人は

・ 30戸未満は定期駐在

・ 30～49戸は週5日4時間駐在

・ 50～99戸は週5日8時間駐在

・ 100戸以上は常駐

③ 高齢者向け住戸の付置

・ 住戸数の1/10以上を高齢者に配慮したバリアフリー住宅とし、65

歳以上の高齢者を入居させるよう

努める。

ワンルームマンションが適切に建設されるように誘導的に規制することを目的にしたと述べ、住環境



④ 入居者の住民登録、町会への加入や防災訓練等の地域活動に積極的に参加することを建築主および所有者の責務とする。

23区ですでに8区が規制

23区では、すでに8区がワンルームマンションの規制を行っています。荒川や墨田、台東の各区はファミリータイプの付置を総戸数の1/4と1/2と厳しい規制を行っています。

品川区は「20代と40代の所得の高い方が税を負担し高齢者を支えている。一方でワンルームがあまりにも増えすぎると近隣の不安や活力が失われていく。第1弾として優良なワンルーム建設を誘導することを基本に考えた」と説明し「皆さんのご意見を十分お聞きしながら適切に見直してまいります」と述べています。

皆さんのご意見をお寄せください。



— うれしいお知らせ —

妊婦健診無料の受診票14回分

4月から実施されます。

すでに母子手帳を受けられている方は4月からの健診票が品川区より送付されます。

(クラミジア抗原、C型肝炎、経膈超音波、貧血・血糖、B群溶連菌、NST)

妊婦健診受診票は、1回目が8500円分、2回目から14回までが5000円分、その他超音波検査5300円分が支給されます。

里帰り出産の方も助成が受けられます。

里帰り出産をされる方や、契約機関以外で健診をされた場合も、健診費用が助成されます(前記の額)。

分娩した月から6ヶ月以内に申請。検査を受けた際の領収書を持参。その他未使用の受診票、助成申請書、母子手帳、印鑑が必要です。

* 1回目の検査項目は：

体重、血圧、尿検査、血液型、貧血・血糖、不規則抗体、梅毒・B型肝炎・風疹

* 2回目以降の検査項目は：

毎回：体重、血圧、尿検査、保健指導
各回：次の項目から1項目を選び検査可能

日本共産党

無料

法律・生活相談会

4月17日(木) 午後6:30~

会場：鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 TEL3783-8833

弁護士さんが対応します。遺産相続、立ち退き、サラ金、離婚問題、医療や介護などどんな問題でもお気軽にご相談ください。